

アンケート調査へのご協力のお願いと趣旨について

拝啓 貴社におかれましては、ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

このたびは、一橋大学物価研究センターのアンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。アンケート調査の趣旨をご理解いただきたく、私どもの研究活動についてひとことご説明させていただきます。

一橋大学物価研究センターは、一橋大学・東京大学・京都大学の研究者12名が2006年夏に立ち上げた新しいタイプの研究組織です。物価の上昇も下落もない、安定した社会を築くにはどうすればよいのか——これが私どもの研究の原点です。そして、そのヒントは経済を構成するひとつひとつの企業の価格設定行動にあると私どもは考えております。

このような認識のもと、当センターでは、これまでPOSデータをはじめとするミクロの価格情報を収集し、価格データベースを構築してまいりました。このデータベースは世界でも例をみない大規模なものであり、これまでの同種の研究では見逃されていた規則性を検出できるのではないかと内外の研究者の注目を集めています。この価格データベースの分析結果を踏まえ、今回のアンケート調査ではデータの背後にある企業の意思決定について理解を深めたいと考えております。

皆様におかれましては年度末のお忙しい時期とは存じますが、どうか当センターの研究活動をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、今回のアンケート調査で皆様からお寄せいただいたご回答は、適切な集計を施した後、当センターのホームページ (<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~ifd/>) で公開させていただく所存ですので、ご覧いただければ幸甚です。

学術的な価値は当然追求いたしますが、それを超えてビジネスの現場にも通用するような知見を提示できればと考えております。また、今回の調査から得られた知見は、当センターが産学連携の一環として推進している「リアルタイムCPI」の開発にも利用させていただくことを予定しております（「リアルタイムCPI」の概要は別添の日経新聞記事をご覧ください）。

末筆ながら、貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

一橋大学物価研究センター代表者
一橋大学経済研究所教授
独立行政法人 経済産業研究所ファカルティフェロー

渡辺 努